

「夢」をもち、「夢」に向かって努力する生徒

# 原北中学校 学校通信



令和 3年 1月 7日 第17号

福岡市早良区小田部7-11-1

電話 092-851-3344

発行者 校長 福崎 浩 信



明けましておめでとうございます。



明けましておめでとうございます。本年も、生徒・保護者・地域の皆様には幸多き一年になりますようお祈りしています。また、引き続き中学校教育に対するご理解ご支援をよろしくお願い致します。学校は一年間のまとめの時期に、3年生は進路決定の時期に入ります。全ての生徒が充実した年度末を迎えることができるように、学校をあげて教育活動を充実させていきます。



今日、久しぶりに生徒の元気な顔を見てうれしく思いました。7日木曜日は、人日の節句（5大節句の一つ）で、七草がゆを食べた家庭も多かったのではないかと思います。7種類の野菜を入れた七草がゆを食べて、病気をしないことを願って始まった習慣と言われています。この冬は、暖冬と言われているが、統計的に、冬日（1日の最低気温が摂氏0度未満の日）、真冬日（1日の最高気温が摂氏0度未満の日）が多くなる時期になります。身も心も温かくし、元気に3学期を乗り越えさせていただきますようお願い致します。学校でもバランスの良い食事の大切さ、質の良い睡眠の大切さについて指導を行いながら、生徒の自己管理能力を高めていきます。

## 道は開ける(成せばなる) 全てに開明的だった佐久間象山 (1811~1864)

開明的（進取の気性に富む／物分かりがいい／開放的な／進んだ考えの持ち主）な象山は、兵学者で洋学者でした。勝海舟、吉田松陰、坂本龍馬らは彼の門に学びました。

彼がオランダ語をマスターしたのは、30歳を過ぎてからでした。通常1年以上かかるところをわずか2ヶ月で学んでしまいました。オランダ語をマスターした象山は、お金を惜しまずオランダの本を買い求めました。ショメール『家庭百科事典』（フランスの司祭で農学者であったノエル・ショメールが編集したこの百科事典は題名の示すとおり、家庭の生活設計や健康管理をはじめ、家畜の飼育や病気の治療法、魚や鳥の捕獲、樹木の栽培など、内容は多岐にわたっている。）は、全16冊で40両、ソノメルの宇宙記は3冊で55両という大金でした。



象山はそうして得た知識、学問や技術は公益のために公開しました。

象山が38歳の時、町医者村上英俊という人が手に入れた化学書がフランス語で書かれていたため、オランダ語に翻訳したものを改めて注文しようとしたとき、「今から注文しても本が届くのは早くても2~3年先になる。フランス語を学んでその本を読んだ方が早い。」とアドバイスしました。村上は、象山の勧めに従って、フランス語とオランダ語の対訳辞書を買ってフランス語の勉強をはじめ、1年ほどでその化学書が読めるようになったばかりか、日本人で最初のフランス語が出来るようになった人として、明治になってフランス大統領から、レジオンドヌール勲章（ナポレオン・ボナパルト（ナポレオン1世）によって制定）を受けました。象山は日本でフランス語を学ぶきっかけを作った人ともいえます。